



2005年度中間決算説明会

三菱自動車工業株式会社

2005年11月10日

2005年度中間期の業績概況 及び2005年度業績見通し



市川 秀

常務取締役
(財務統括部門担当)

2005年度中間期業績サマリー (5/23公表値対比)

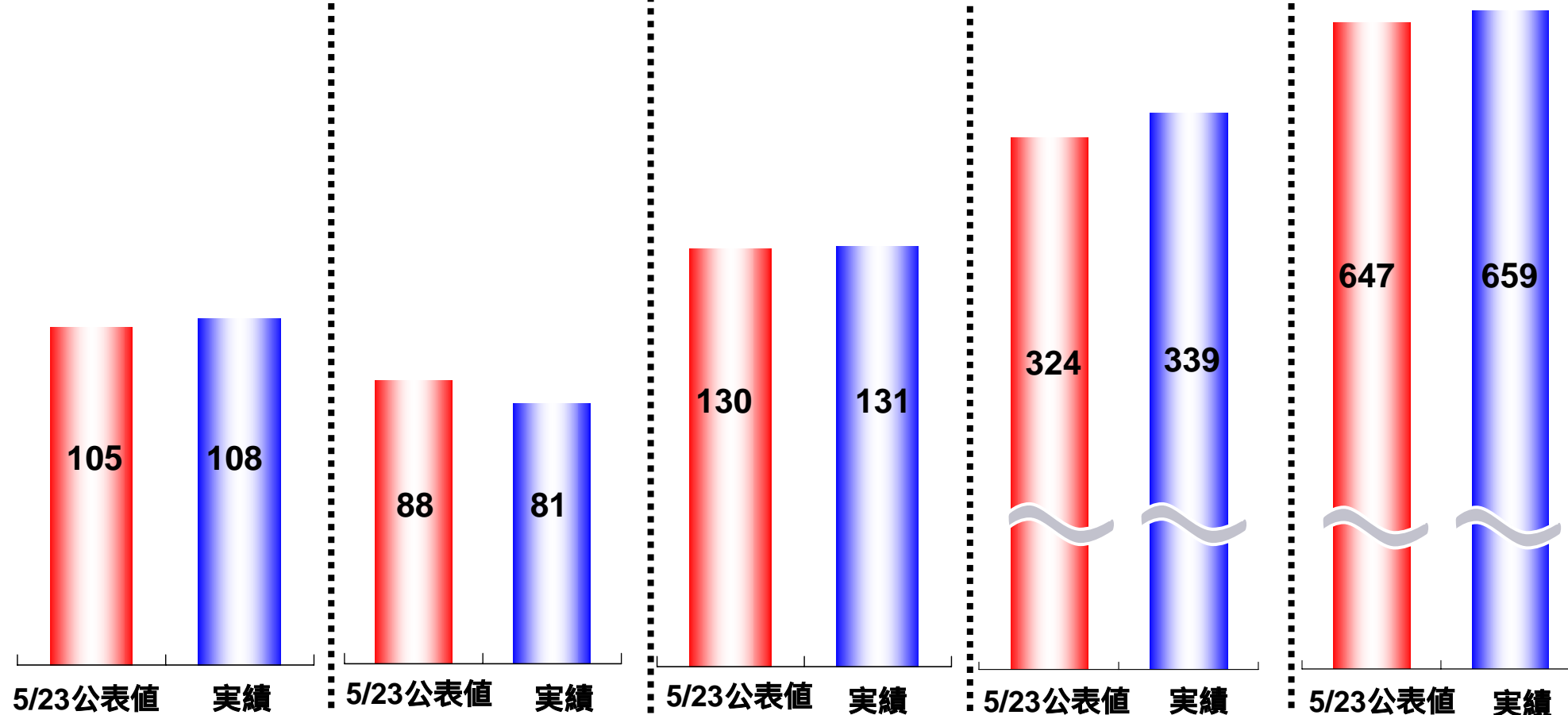
(単位:千台 / 億円)

	FY05/1H 5/23公表値	FY05/1H 実績	差	【ご参考】 FY04/1H 実績
販売台数(小売)	647	659	+12	646
売上高	9,800	9,913	+113	10,708
営業利益	-380	-198	+182	- 764
経常利益	-510	-336	+174	- 1,106
当期利益	-730	-638	+92	- 1,788

2005年度中間期:地域別販売台数(小売ベース)

(単位:千台)

日本		北米		欧州		アジア・その他地域		合計		
対公表値	+3	-7	+1	+15	+12	103%	92%	101%	105%	102%
%	103%	92%	101%	105%	102%					



2005年度中間期: 営業損益

(単位: 億円)

	FY05/1H 5/23公表値	FY05/1H 実績	差 -	
売上高	9,800	9,913	+113	
営業利益	-380	-198	+182	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 台数・ミックス変動 -17 ▶ 為替 +40 ▶ 販売費 +98 ▶ コスト低減他 +61
経常利益	-510	-336	+174	
当期利益	-730	-638	+92	

2005年度中間期：営業外損益、特別損益

(単位：億円)

	FY05/1H 5/23公表値	FY05/1H 実績	差
売上高	9,800	9,913	113
営業利益	-380	-198	182
営業外損益	-130	-138	-8
経常利益	-510	-336	174
特別損益及び法人税等	-220	-302	-82
当期利益	-730	-638	92

特別損益及び法人税等	減損損失	-180	-302	減損損失	-219	-82
	その他	-40		構造改革損失等	-52	
				その他	-31	

2005年度中間期末:貸借対照表

(単位:億円)

	前期末 (05年3月末)	中間期末 (05年9月末)	増減 -
資産合計	15,893	15,141	-752
有利子負債合計	4,760	4,408	-352
株主資本合計	3,248	2,590	-658

年度見通しは据置き

	FY05 11/10公表値
販売台数(小売)	1,370 千台
売上高	22,200 億円
営業利益	-140 億円
経常利益	-400 億円
当期利益	-640 億円

2005年度事業計画

(下期施策)

益子 修

取締役社長

2005年度：地域別販売台数(小売ベース)

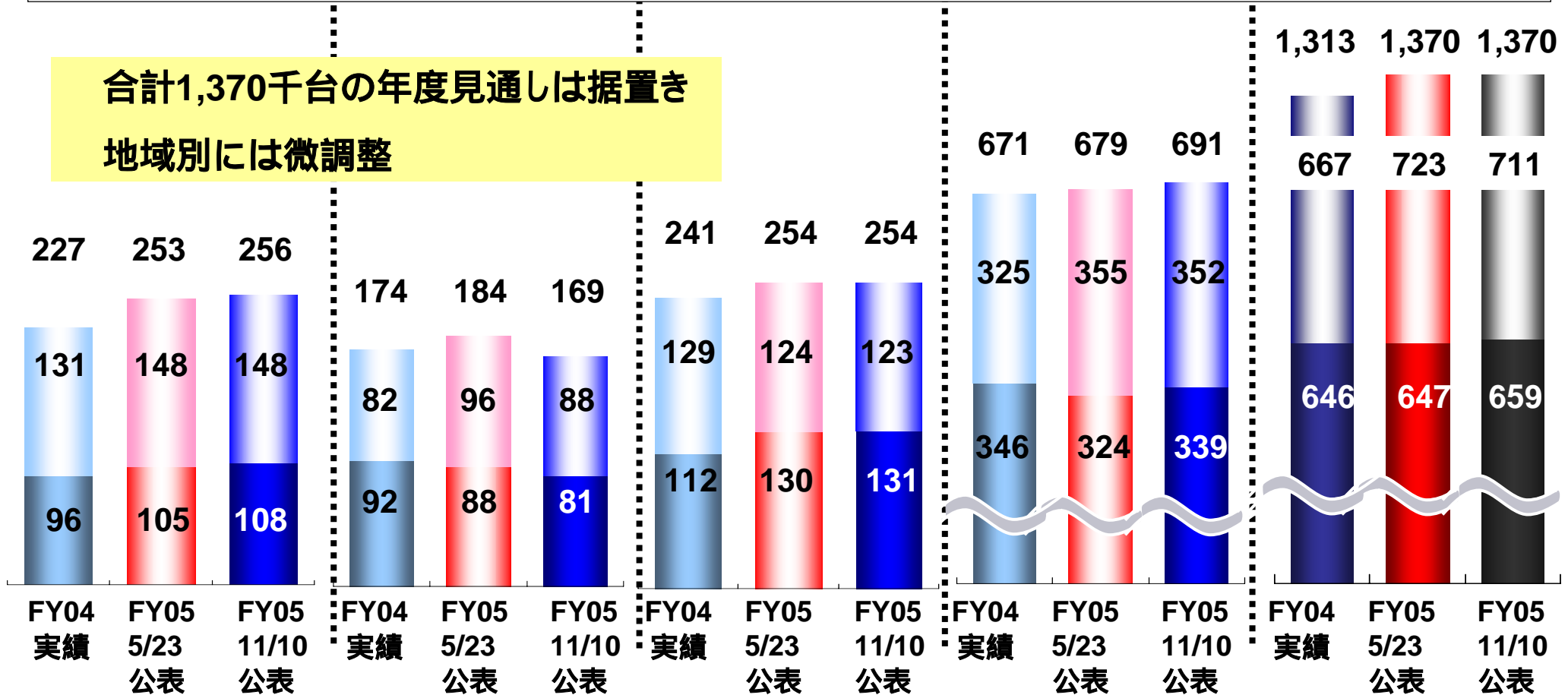
上段：下期 下段：上期 (単位：千台)

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

11/10公表値の対5/23公表値増減

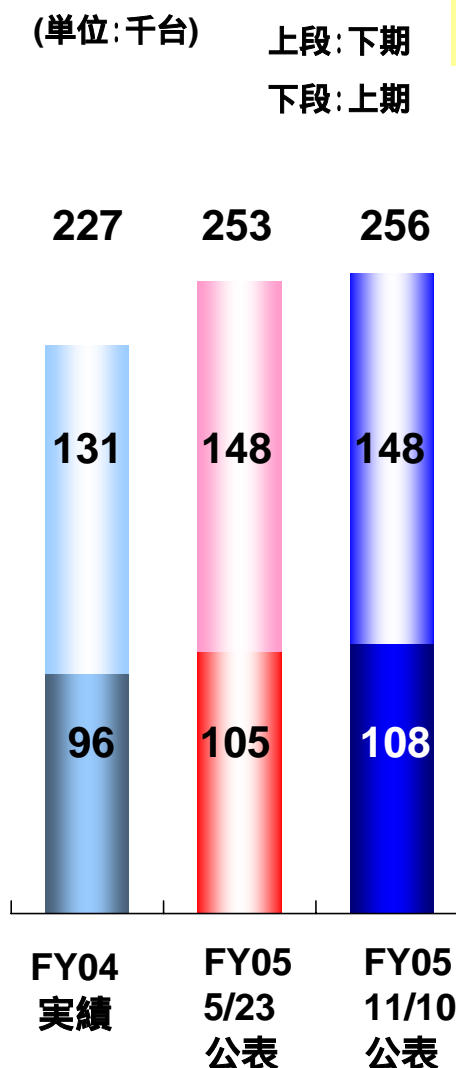
通期	+3	-15	±0	+12	±0
下期	±0	-8	-1	-3	-12

合計1,370千台の年度見通しは据置き
地域別には微調整



下期販売目標は公表値を堅持

～新車効果で148千台達成へ～



■ 新商品投入

◇ 新型車2車種

アウトランダー (10月～), 新コンセプト軽 i(アイ) (06/1月～)

◇ 特別仕様車 (コルト、グランデ'イス他)

■ 販売・サービス品質向上

◇ 安心プログラム継続 (安心サポート、安心保険、認定中古車保証)

◇ 店舗リニューアルの加速 (広告塔、店舗サイン、店舗内装)

◇ 自工・販社一体でCS改善活動推進 (標準受付スタイル普及)

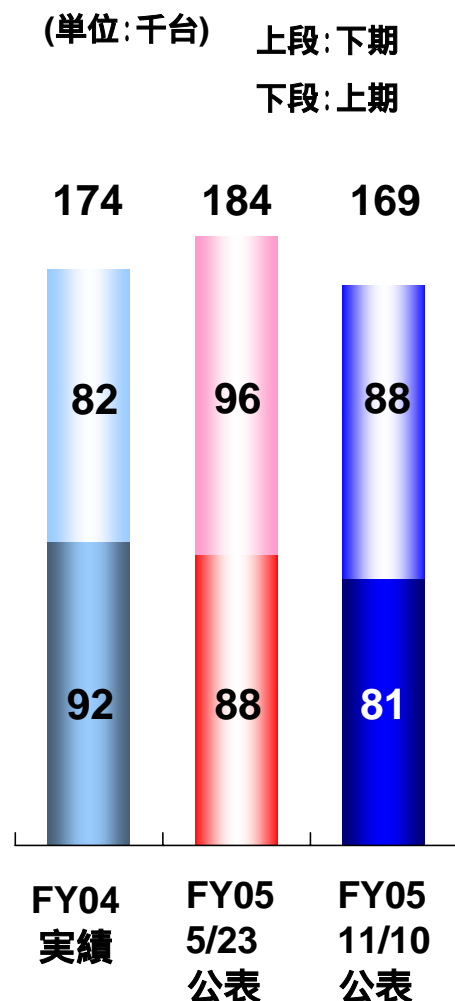
■ 利益体質の基盤作り

◇ 販社、部販社の統合・広域化

◇ アフターセールス事業収益拡大(つくつく車検、第2純正部品の導入)

損益改善重視を継続

～ 実態を見据え、下期販売目標を見直し～



■商品力強化による販売減歯止め

- ・スポーティクーペ『エクリプス』 (5月～)
- ・ピックアップトラック『レイダー』 (10月～)

■販売正常化による収益性改善

- ◇フリートの絞込みによる中古車価格向上
- ◇在庫圧縮によるインセンティブ削減

■米国工場稼働率向上

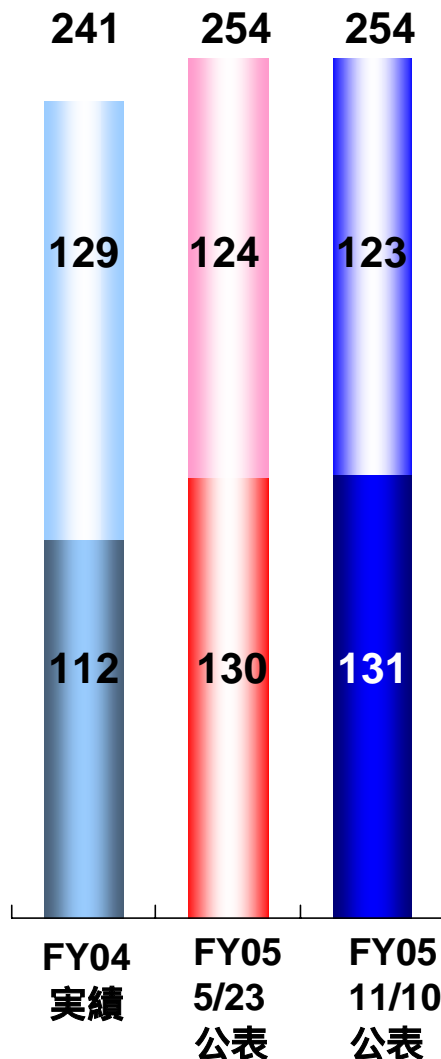
- ◇中東・ロシア向け輸出開始(2006年～)

■新販売金融体制

- ◇提携ローン利用率向上(20%台 30%台)

2005年度計画：欧州

(単位:千台) 上段:下期
下段:上期



商品強化と車種・地域別施策展開

■ 投入商品

- ◇ランサー エボリューション (10月～)
- ◇新型1tピックアップトラック (06/2月～)

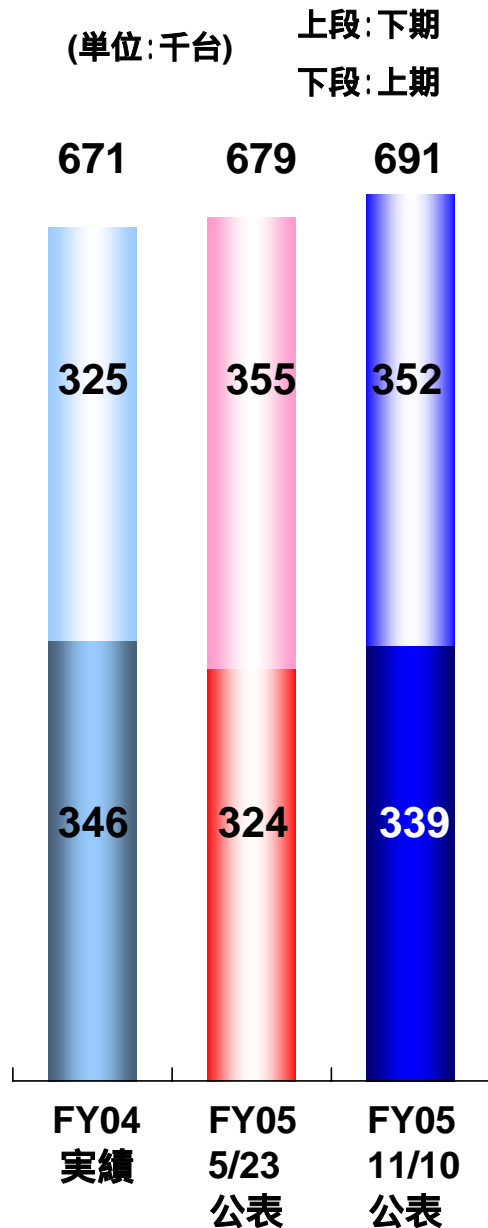
■ 既存車の拡販

- ◇ コルト3ドア/5ドア:南欧市場での販売促進
- ◇ ランサー:成長市場ロシアでの主力商品化
- ◇パジェロ:主要国での仕様・価格の見直し

■ 大市場であるドイツ・英国における販売好調維持

■ 成長市場(主にロシア・ウクライナ)における拡販

2005年度:アジアその他地域



販売は着実に伸長

～ ブランド力のあるアジア・アセアン～

～ 好調なその他地域 (中東・アフリカ、中南米)～

■ 中国

◇ 三菱ブランド車の拡販の為のディーラー網の整備を実施中

■ タイ

◇ 中核生産拠点としての体制強化

◇ 新型1tピックアップ「トライトン」タイ国内 (8月～)

◇ 新型1tピックアップ「トライトン」輸出開始 (12月～)

■ 豪州

◇ 新型現地生産車「380」投入 (10月～)

■ その他地域

◇ 中東・アフリカ、中南米は好調維持

■ 2005年度上期実績 → 堅実なスタート

- ・販売台数、売上高は公表値を達成
- ・損益は公表値に対し、赤字幅縮小

■ 2005年度総販売台数、損益見通し → 据置き

- ・下期は、各マーケットでの新車投入効果を織り込んだ高い販売計画
- ・北米市場などに先行き不透明感があるが、好調市場で挽回、カバー
- ・原油高による景気への影響が世界各国で懸念材料

■ 着実に各施策を実行する → これからが正念場

添付資料



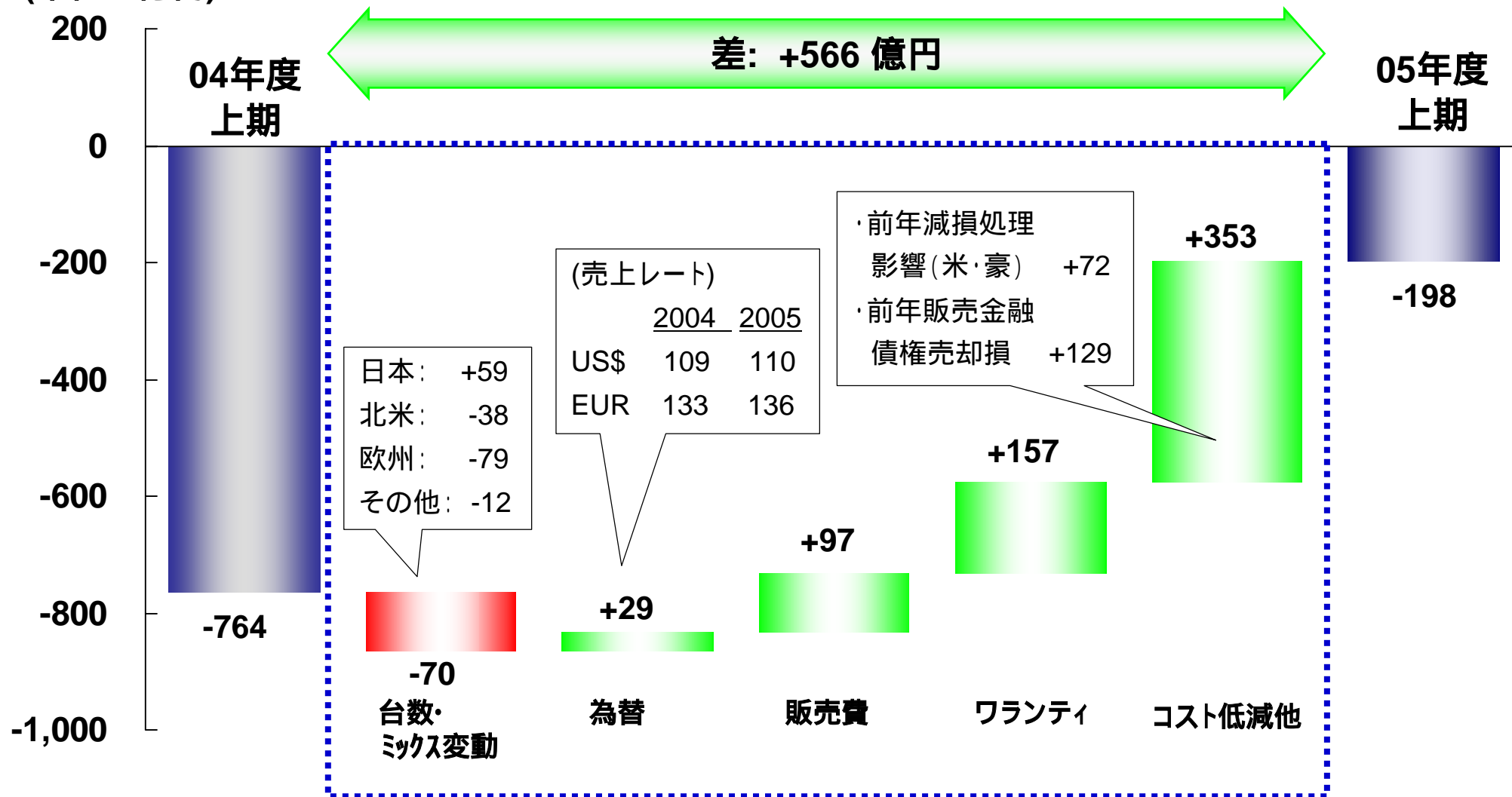
2005年度中間期：地域別業績

(単位：億円)

	FY04/1H 実績	FY05/1H 実績	増減 -
売上高	10,708	9,913	-795
- 日本	1,828	2,088	+260
- 北米	2,373	1,961	-412
- 欧州	3,480	2,834	-646
- アジア・ その他地域	3,027	3,030	+3
営業利益	-764	-198	+566
- 日本	-517	-381	+136
- 北米	-605	-152	+453
- 欧州	34	84	+50
- アジア・ その他地域	324	251	-73

2005年度中間期：営業損益増減分析（前年同期対比）

(単位：億円)



2005年度：地域別業績見通し

(単位：億円)

	FY04 実績	FY05 5/23公表値	FY05 11/10公表値	増減 -	増減 -
売上高	21,226	22,200	22,200	+974	±0
- 日本	4,129	5,300	5,300	+1,171	±0
- 北米	4,414	4,500	4,300	-114	-200
- 欧州	6,678	6,200	6,200	-478	±0
- アジア・ その他地域	6,005	6,200	6,400	+395	+200
営業利益	-1,285	-140	-140	+1,145	±0
- 日本	-970	-650	-620	+350	+30
- 北米	-1,038	-210	-220	+818	-10
- 欧州	72	60	100	+28	+40
- アジア・ その他地域	651	660	600	-51	-60

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、

- 本計画の各種目標・各種施策の実現可能性
- 金利・為替・石油価格の変動可能性
- 関係法令・規則の変更可能性
- 日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等 があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。